



なんだと...?

勿論そのスケベな  
身体で私に奉仕する  
愛人も兼ねてな

お前には私の  
専属護衛にな  
ってもらう

さすがと言う所だが  
こうなつては自慢の技  
も使えんだろう

これからお前に  
減らされた護衛の分を  
その身体で補ってもらうぞ



ふざけるな  
私は対魔忍だ

貴様のような下衆に  
従うことなど  
絶対にありえんっ!



まあそれは  
どうか...!

んああっ!?



ガッ

安くはない兵隊を  
くればんと斬り殺して

...っ



だ...まれっ

私は...貴様  
などに...  
屈さない...っ



ああっ

んっ

今までこの刻印を  
刻まれて墮ち  
なかつた女はいない

勿論対魔忍もな  
お前はどれほど  
もつかない秋山凜子



な...ああっ  
これは...!?

んっ

どうだ私のチンポは  
お前に刻んだ刻印が  
私とのセックスの快感  
を何倍にもしてくれる

それは回数を重ねる  
ごとに何十倍何百倍  
と効果を増すのだ

数カ月後

ほらお前の元仲間へのメッセーじだしっぴかり宣言しろ凍子

あゝ

はい...私には御主人様の愛人兼専属護衛として

一生を捧げ尽くすことを誓います...もう対魔忍には戻りません...っ!

御主人様の命を狙う者は対魔忍であろうと殺します...

んあゝあゝあゝ



よく言えたな凍子ご褒美だ

ふあゝ...凍子の全ては御主人様のためです

ずっと可愛がってください...

これからも私のためにだけ働いてください